様式第１号（第５条関係）

令和８年７月17日

世羅町長　様

申請者
団体住所　　世羅郡世羅町東上原142-3
団　体　名「演劇で人づくり」セラ実行委員会
代表者氏名　　柳谷哲史

令和９年度世羅町元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書

つぎのとおり世羅町元気な地域づくり応援事業のプロジェクト認定を受けたいので、世羅町元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱第５条第１項の規定により、関係書類を添えて申請します。

１．プロジェクト名称

「大妻コタカ物語」発信・交流プロジェクト

２．補助対象事業費

2,880,000円

３．目標金額（補助金交付希望額）

2,500,000円

４．成立金額（事業の実施に最低限必要な補助金額）

1,500,000円

５．添付書類
（１）事業計画及び収支予算書
（２）団体の規約又は定款
（３）事業位置図・事業実施場所写真
（４）団体の構成員名簿
（５）団体の決算書・総会資料
（６）見積書（又は設計書）
~~（７）~~図面

次の点について了解のうえ申請してください。了解された場合は☑してください。
☑この認定申請は、プロジェクトの実施を希望する年度の前年度に行うものです。
　認定申請と同一年度にプロジェクトを実施することはできません。
☑年度はプロジェクト実施年度を記入してください。
☑この認定申請書等は、ふるさと納税の募集等のため、世羅町ホームページに公開します。

様式第２号（第５条・第６条関係）

事業計画及び収支予算書

１．申請団体の概要

①団体名	「演劇で人づくり」セラ実行委員会（略称：げきセラ）		
☑団体の規約又は定款を添付してください。			
②団体の代表者	柳谷哲史		
③代表者住所、連絡先	〒722－1121　世羅町大字西上原726-4　番地 TEL：0847（22）5151		
事務局連絡先（送付先） ＊連絡先等が異なる場合には記載してください	〒729－3303　世羅町大字東上原142-3　番地 氏名　宗重博之　TEL：080（9037）8005		
☑代表者及び事務局の住所・連絡先は公開しません。黒塗りとします。			
④設立（発足）年月	昭和・平成・令和　7年　2月　15日		
⑤構成員	会員数　15　名	うち町民　12　名	
	スタッフ　3　名		
☑構成員名簿を添付してください。（構成員名簿は公開しません。） ☑5人以上で構成される団体が補助対象団体となります。 ☑町内に住所を有する者が構成員（会員）に複数名必要です。			
⑥設立目的・趣旨	演劇活動を通じて、自己表現力、共感力、コミュニケーション能力、チームワーク、問題解決能力などを育み、人間的成長を促進させ、地域社会の活性化のみならず、他市・他県・他国との文化交流や相互発展にも寄与することを目的とする。		
⑦主な活動分野 （特定非営利活動分野から３つ以内でチェックを入れてください）	□①保健・医療・福祉　☑②社会教育　☑③まちづくり ☑④文化・芸術・スポーツ　□⑤環境保全　□⑥災害救援 □⑦地域安全　□⑧人権・平和　□⑨国際協力 □⑩男女共同参画社会　□⑪子ども健全育成　□⑫情報化社会 □⑬科学技術　□⑭経済活動　□⑮職業能力開発・雇用機会拡充 □⑯消費者保護　□⑰その他（　　）		
⑧過去１～２ヵ年の主な活動実績、年間事業規模、今後の取組み予定	（一昨年度） 演劇で人づくりプロジェクト「星の王子さま」（桐朋学園大学）公演 公演日：令和7年2月28日～3月1日（3か所公演） 会場：中央自治センター、大田自治センター、西大田自治センター 観客総動員数：450名		
	（昨年度） 今高野山・奉納ライブ（令和7年9月14日）の共催 甲山廿日えびすに参加（桐朋学園の学生5人招へい）		
	（今後の取組み予定） ○うずめ劇場「平和」世羅町公演の制作と共催（7月28日・29日） ○甲山廿日えびす「にわか狂言」参加（8月20日） ○筒井賢の「真夏の夜の夢ライブ」の制作と共催（8月21日） ○「大妻コタカ物語」世羅町公演　（11月22日・23日）		
☑新型コロナウイルス感染症の影響により、過去2年間の主な活動実績がない場合、過去5年以内の主な活動実績などを記載してください。			

2．事業計画

①プロジェクト名称	「大妻コタカ物語」発信・交流プロジェクト

☑プロジェクト名称はふるさと納税等を募集する際にも使用するため、簡潔で分かりやすい名称としてください。

②このプロジェクトに取り組む理由	1年目では、大妻コタカ氏を題材に、参加者が一つの舞台を創り上げることで、世代を超えた交流と地域への誇りを育むことを目的としました。演劇を通して「学ぶ・支え合う・表現する」という体験は、新たなつながりと郷土への愛着を生み出し、のべ50名以上が参加し、本事業の大きな可能性を示しています。 2年目は、この成果を基盤に、大妻コタカ氏の理念を町外へ発信します。広島市、三次市、尾道市、大妻学院の教育機関や関係者との連携を深め、新たな交流人口や関係人口の創出につなげます。 人口減少や地域コミュニティの希薄化が進む中、地域の偉人を「共に創り、未来へ伝える文化資産」として育てていくことは、持続可能なまちづくりに直結します。本事業は、文化芸術による地域創生の実践モデルを目指します。

☑社会的背景や地域の現状を踏まえて、プロジェクトの必要性や目的など記載してください。

③実施場所及び効果の及ぶエリア	実施場所	広島市、三次市、尾道市
	効果の及ぶエリア	広島県内

☑具体的な施設整備やイベントを行う場所の分かる地図・写真を添付してください。
☑必ずしも町内で実施する必要はありませんが、効果が町内に及ぶことが必要です。

④実施予定期間及びスケジュール	令和9年4月1日　～　令和10年2月28日	
	4月～6月	稽古
	7月～9月	稽古、情報宣伝
	10月～12月	公演（三次・尾道）
	1月～2月	公演（広島）

☑プロジェクトの実施年度は申請年度の翌年度になります。
☑概ね四半期毎のスケジュールを記載してください。
☑2月末までの事業完了・実績報告が必須となります。

⑤実施内容	令和8年度に創作・初演した『大妻コタカ物語』を巡回公演用に再構成し、演出や舞台美術、照明・音響を各会場の条件に合わせて調整したうえで、三次市（三次まちづくりセンター・ぺぺらホール）、尾道市（しまなみ交流館）、広島市（JMSアステールプラザ中ホール）の3会場で公演を実施します。 また、各会場では、世羅町の観光パンフレット等を配布し、町の観光資源や特産品、文化・歴史の魅力を積極的に発信します。演劇を通じて県内における世羅町の認知度向上を図るとともに、来訪意欲を喚起し、交流人口・関係人口の拡大及び地域経済の活性化につなげる取組を実施します。

☑具体的な建物、モニュメント等の施設整備内容やイベント等の開催内容などを記載してください。
☑プロジェクトの進め方や実施方法（活動地域・対象者）など、確実な実施ができるかも記載してください。
☑プロジェクトへの地域の住民・企業等の参画の度合いなど、地域を巻き込む取組みを記載してください。
☑プロジェクトのアピールポイント（活動の独創性・工夫している点・熱意）なども記載してください。

⑥プロジェクト実施翌年度以降の取組み	本事業で構築した大学・地域・文化団体とのネットワークを活かし、「大妻コタカ物語」の継続的な上演と共同制作を進めます。次世代の担い手育成と新たな参加者の拡大を図りながら、文化芸術を通じた交流を継続します。 また、令和10年3月に開催される大妻女子大学の「大妻さくら祭り」に参加し、劇中の歌や踊りを披露します。中学・高校・大学関係者や来場者との交流を深めるとともに、世羅町の魅力を広く発信します。

☑整備した施設等の活用方法や、イベントや取組みなどの翌年度以降の継続性などを記載してください。
☑自立的な活動の継続が期待できる取組みかどうかがポイントとなります。

⑦実施効果	本事業を通じて、県内における「大妻コタカ氏」の認知度が向上するとともに、世羅町の歴史や文化、地域の魅力を広く発信することができます。 大妻女子大学との交流・共同制作を通じて、学生と地域住民が世代や地域を越えて学び合い、新たな関係人口の創出・拡大につながります。 地域住民が演劇の創作と発表に継続して参加することで、表現力や協働する力が育まれ、地域への愛着や誇りが高まります。こうした取り組みを積み重ねることで、世羅町が文化芸術による地域創生の実践モデルとして、広く認知されることを目指します。

☑地域の課題解決につながる効果を具体的に記載してください。
☑町内の他の地域への波及効果も記載してください。
☑町の魅力を町外に広く発信するなど町外への効果もあれば記載してください。
☑団体等の利益が発生する場合には、地域の利益が上回ることを具体的に記載してください。

３．収支予算

【①支出】

区　分	内　　訳	金　　額
使用料	会場費、冷暖房、付帯設備、楽屋等の借上料	537,488
委託料	3つの会場の舞台設営・撤去（舞台セット、照明、音響、映像、広報看板）、制作受付	1,500,000
委託料	音楽（作曲、楽譜製作）、小道具・広報宣伝物、衣装製作	300,000
役務費	舞台、照明、音響、楽器等の荷造費並びに運搬費	300,000
報償費	舞台監督、照明デザイン、音響デザイン、映像製作、衣装デザイン、ピアノ演奏	550,000
旅費	外部講師の旅費　50,000円×6 回分 出演・スタッフの宿泊費（広島公演） (15,000円×30名×1泊)	750,000
印刷製本費	チラシ、チケット、ポスター、パンフレット 広報資料、コピー代など	300,000
食糧費	お弁当、お茶、ミネラルウォーター等	90,000
消耗品費	事務用品	52,512
合　　計		(a)4,380,000

【②収入】

（補助対象経費算出）

区　分	内　　訳	金　　額
参加費等	入場料2,500円×200名×3公演	(b)　1,500,000
補助対象経費	(a) -(b)	(c)　2,880,000

（目標金額）＊目標金額は補助金申請額で、補助金の上限となる額です。

区　分	内　　訳	金　　額
目標金額（補助金申請額）		2,500,000
自己資金（会費など）		100,000
その他（寄付、利息など）		280,000
合　　計		(d) 2,880,000

（成立金額）＊成立金額はプロジェクトの実施に最低限必要な金額で、下回った場合には補助金は交付しません。

区　分	内　　訳	金　　額
成立金額		1,500,000
自己資金（会費など）		380,000
その他（寄付、利息など）		1,000,000
合　　計		(d') 2,880,000

☑参加費を徴収するイベントなどは参加費相当額を補助対象経費から除きます。ただし、参加費相当額を確認するため、支出には参加費相当額も含めた金額を記載してください。

☑「区分」の欄には、講師等謝金、旅費、印刷製本費、委託料、備品購入費などを記載してください。

☑「内訳」の欄には、収入及び支出毎の概要（積算根拠など）を記載してください。

☑金額の根拠となる書類（カタログ、見積書等）を添付してください。

☑建物の整備などの場合は、図面を添付してください。

☑目標金額、成立金額は20万円以上1000万円以下の範囲で、千円単位で記入してください。

☑（c）と（d）・（d’）は、必ず一致させてください。

☐本様式を元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱第6条に基づく補助金交付申請の際に使用する場合は、（成立金額）の表への記入は不要です。

４．確認事項（次の事項を確認し、☑してください）

☑① 元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱ならびに元気な地域づくり応援事業補助金申請要項の内容を順守したうえで、本申請を行います。

☑②「元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書」並びに添付書類の記載内容は真実であり、虚偽の内容はありません。

☑③ 個人情報について次の事項に同意します。
・申請書、変更申請書、実績報告書および添付した資料に記載されている事項は、当事業の運営に必要な範囲で、審査会委員や世羅町が取得・利用すること、また、ふるさと納税の募集や結果を公表するため、これらの情報が世羅町ホームページ等に公開され、マスコミ等一般に公開されること。
・公開審査会の際に、提出された書類を基に作成した申請内容要約書を一般に配布すること。

☑④ 申請内容について、詳細な情報・資料を求められた場合は提供します。

☑⑤ 各種法令等を遵守し、申請内容を必ず実施します。申請したプロジェクトが成立したにも関わらず、事業を実施しなかった場合は、成立通知書を受け取った日の属する町の会計年度及び翌会計年度にこの補助金の申請をすることができないことを了承のうえ、申請します。

☑⑤ 本事業により整備した施設等の財産は適正に管理します。また、整備後５年間は、補助目的・申請内容に沿って使用します。

上記の点、確認しました。

団体住所　世羅町大字東上原142-3　番地
団　体　名　「演劇で人づくり」せら実行委員会
代表者氏名　柳谷哲史

・個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）に基づき、申請者の個人情報は本事業を遂行するために必要な範囲に限定して利用します。

【自由記述】プロジェクトに対する意気込みなど、自由にご記入ください。

このプロジェクトは、大妻コタカが生涯をかけて実践した「人を育む教育」の理念を、演劇という表現を通して現代に問い直し、未来へ受け継ぐ人づくり・地域づくりの挑戦です。

現代社会では、人口減少や地域コミュニティの希薄化、子どもたちの自己肯定感やコミュニケーション力の低下、多様な価値観への理解など、多くの課題を抱えています。また、年齢や障害、国籍、経験の有無にかかわらず、誰もが互いを認め合い、ともに学び、ともに生きるインクルーシブな社会の実現が求められています。

私たちは、演劇にはこうした課題に向き合い、新たなつながりを生み出す力があると考えています。演劇は一人では成り立ちません。お互いの違いを認め合い、対話を重ね、協力しながら一つの作品を創り上げる過程そのものが、人を育み、共生社会を実践する学びの場となります。子どもから高齢者まで、多様な人々が同じ舞台に立つことで、世代や立場を超えた理解と信頼が育まれます。

令和8年の一般公募では、5歳から85歳まで39名が参加しました。出演者は、大妻コタカの生き方を通して「学ぶとは何か」「ともに生きるとは何か」を問い続けながら舞台を創り上げています。そして、その姿は、観る人や支える人にも学びと対話を広げ、地域全体へと波及しています。

この積み重ねは、地域の担い手を育て、世代や地域を超えたネットワークを広げるとともに、世羅町への誇りと愛着を育む力になると確信しています。

この挑戦は、実行委員会だけでは実現できません。町民、行政、学校、企業、そして町外の多くの仲間が力を合わせることで、持続可能な地域づくりへと発展していきます。

本事業への支援は、一つの演劇公演を支えるだけではなく、人を育て、地域を育てる新しい文化を世羅町から全国へ発信する礎となり、その価値は次の世代へと受け継がれていきます。

◎最後にチェックしてください。申請書類・添付書類に漏れはありませんか？

☑	内容（【必須】となっているものは必ず提出が必要）	公開・非公開
☑	【必須】元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書（様式第1号）	公開
☑	【必須】事業計画及び収支予算書（様式第2号）	加工公開
☑	【必須】団体の規約又は定款	公開
☑	【必須】事業位置図・事業実施場所写真	加工公開
☑	【必須】団体の構成員名簿	非公開
☑	【必須】団体の決算書・総会資料	非公開
☑	【必須】見積書（又は設計書）	非公開
□	図面（施設整備が伴う場合は必須）	公開

＊公開とされているものはホームページで公開します。加工公開とされているものは、一部加工したうえで公開します。

＊著作権等のため、公開としているものも加工することがあります。

＊申請者が希望された場合、非公開としているものも加工のうえ公開する場合があります。

＊書類は可能な限り電子データでも提出してください。

＊書類は公開審査会でコピーを配布する場合があります。